



# アエファ AEFA通信

NPO法人 アジア教育友好協会

〒105-0014 東京都港区芝3-3-10 芝園オーシャンビル8F

電話 03(6426)0720 /FAX 03(6426)0721

<http://blog.canpan.info/aefa/>

## AEFA初！

### 日本の交流校の先生による、現地視察及び交流授業

#### \*\* ベトナム 港区芝小&フートゥーC小 \*\*

9月19日～23日、東京都港区芝小 須川、長岡両先生が、AEFAベトナム南部の学校を訪問。交流校フートゥーC小(2009年度建設校)での交流授業をメインに、校区内の貧しいクメール族の家庭訪問、また省内のその他の学校数校を視察されました。

「シンチャオ！」と言って教室に入ると、3年生30人がベトナムの歌を歌いながら笑顔で出迎えてくれました。ベトナム語でしか通じないため、日本語、英語、ベトナム語と3段階の通訳が必要でしたが、富士山や東京タワーの写真、芝小の子どもたちの様子の写真を好奇心いっぱいの目で見入っていました。東京音頭を一緒に踊ったり、かぶとを折ったりなど短い時間でしたが、日本の文化を通して共に楽しみました。おみやげにあげた芝小からの鉛筆にはみんなとても大喜びでした。

校長先生からは、「これから新しくなる校舎で、芝小という日本の子どもたちと交流できることに感謝の気持ちでいっぱいです。」と、感謝の心を詩に表し、一晩のうちに詩集にまとめて贈呈してくれました。

須川先生は、「お互いの国を知り、共に認め合い、共に学ぶ仲間として交流ができれば…」と、これからの交流に意欲を燃やしていらっしゃいます。



芝小からの交流作品を紹介



熱帯雨林の中の細くぬかるんだ道を、マンゴーシャワーに打たれて移動

#### \*\* タイ ナンプア小 \*\*

ベトナムでの交流授業の後、AEFAスタッフはタイへ。ラオスの国境近く、少数民族が多く住むナン省へ飛びました。

ナン省プア市にある、パートナーNGOのタイ北部事務所から、さらに四駆で2時間ほどの山道を登りきったところが、今回の訪問先、ナンプア小学校(2009年度建設校)。時には四駆のおながか地面を打つような凸凹山道を越え、学校が近づいてくると、下校する子ども達とすれ違います。

好奇心にあふれた目でこちらを覗き込む子ども達に、車の窓を開けて、「サワディーカー」とタイ語であいさつ。子ども達も、顔の前に両手を合わせて返してくれました。

翌日は、交流授業を行いました。子ども達は7時過ぎに登校。8時過ぎから校舎前の校庭で朝礼。



教室で、日本の文化やフレンドシップ校の津市立辰水小の紹介と、お習字教室を開催しました。

日本から持参した墨と筆を使い、子ども達は半紙に見よう見真似のカタカナで、自分の名前を元気に書いてくれました。なかなかの筆遣いの力作が完成！

次に、タイ語で自分の名前を書いてもらいました。こちらは、日本の子どもへのプレゼント。



休み時間には、みんなで校庭で大縄をしました。その横で男の子たちはセパタクロウを披露。遊ぶときは、全力で遊ぶ。日本から遠く離れたタイの山合いの学校でも、子どもの笑顔はやっぱり同じでした。

きには、全力で遊ぶ。日本から遠く離れたタイの山合いの学校でも、子どもの笑顔はやっぱり同じでした。



ナンプア小学校の先生たちと



日本の友だちへ、絵の作品

#### <同行したAEFAボランティア 吉田さくらさんの感想>

今回の家庭訪問では、地域の貧しい家庭の現状を見せていただき、貧しいからこそ、やはり子ども達にはしっかりと学校で学んでもらい、“貧困→無学→貧困”の負のサイクルを断ち切ることの必要性を改めて強く感じた。

と同時に、貧しくても親や兄弟の愛情に包まれ、笑顔ではしゃぐ子ども達を見て、やはり子どもは万国共通だなとも思った。こういう彼らの変わらぬ姿こそ日本の子ども達に知ってもらいたい。AEFAの交流は貧しい友達に哀れみを感じるためではなく、貧しい環境でも同じ笑顔で暮らす友達に共感同じ仲間だと感じるためにこそ役立てほしいと願う。

先生方の視察及び「第4回AEFAフォーラム」は、財団法人三菱UFJ国際財団様のご支援をうけて、実施しています。



## 日本の交流校の先生による、現地視察及び交流授業～ラオス

### \*\* 横浜市立二俣川小&カムサムバド小 \*\*

カムサムバド小(2007年度建設)は、戦争被害から身体に障害をもった父母を持つ子どもたちが通う学校です。

交流校の二俣川小瀬野尾千恵校長、小林宏先生、中野悟先生が訪問。交流授業に加え、「日本の運動会」を紹介しました。二小の子どもたちは、赤・青2色(ラオス国旗の色)で「はちまき」を手作りしてプレゼント。競技を説明する壁新聞も、頑張ってラオス語で作りました。

カムサムバドの先生方が、その壁新聞を使って、子どもたちに競技方法を説明。長縄とび、50m走、騎馬戦、リレー。二人三脚では、はちまきで脚をくくってもらうと、すぐに走り出す子どもたち。転んでひきずられたり、けんけんしたり、、青空の下、歓声と笑顔が校庭に響きました。



交流授業の様子



二小児童 手作りのはちまき

### \*\* 福島県東館小 & ナトゥール小 \*\*

ナトゥール小(2008年度建設)では、交流校の東館小宍戸校長先生がラオス語にした校歌を、ギターの弾き語りで子どもたちに披露。さらに、ラオス語で日本の絵本を読んで聞かせました。子どもたちは瞳を輝かせて、宍戸先生の歌声とギターの音色、お話に聞き入っていました。

136年の歴史を持つ東館小に伝わる「鐘」や、歴代PTA会からの記念品としてCDプレイヤー、現PTAからボール、そして児童からは健康と幸せを祈る千羽鶴、ラオス語で作った「日本の四季」など、たくさんの贈り物。ナトゥールからも、手作りの竹細工やひょうたんなどが贈呈されました。子どもたちは「アリガカ」という歌と踊りを元気いっぱい披露。宍戸先生と同行の東館小卒業生石井氏(日本財団)も、一緒に歌い、踊りました。ナトゥールの先生からは、「日本のみなさんへ感謝と、健康と幸運をお祈りします」とのメッセージが伝えられました。



### \*\* ナトゥム小 \*\*

ナトゥム小(2009年度建設校)に、交流校 津市立南が丘小の友だちから贈られた、押し花作品を届けました。

ラオスにも色とりどりの花がありますが、初めて見る美しい押し花に、先生も子どもたちもびっくり。AEFA理事長から1人ひとりにプレゼントされ、大喜びでした。

新校舎の建設も、順調に進んでいます。今年の12月には、完成予定です。



### ラオス 建設候補校 視察

#### ☆サラワン郡コマイ村及び近辺4ヶ村

先生方や村長たちと、集会を開きました。建設候補地は、村が共同して用意しており、将来的には中学校も作りたい・・・と子どもたちの教育にかける想いは真剣です。



#### ☆ラオガム郡ピアラー村

村人たちがこつこつ貯めたお金で建設候補地を準備しています。候補地を視察し、村のお寺に村民が集まって集会を開きました。村人たちの熱意を感じました。



### AEFAからのお知らせ

#### ☆11/1(日) 第4回 AEFAフォーラム 開催します!

～アジアの輪を拓けよう～

日本財団ビル 2F大会議室にて 12時～18時

#### ☆アジアへの作品を、お待ちしております!

日本の交流校で作品がまだなところは、AEFA事務所までご連絡 またはご送付頂けますよう、宜しく願いいたします。